パソコンで広がるまちづくり

パソコンを保有している家庭の割合は八割近くに達しているとの結果が りました。総務省の「通信利用動向調査」でも、平成十六年末における 真やメッセージなどを瞬時にやりとりしたり、学業のレポートや年賀状 示されています。 を作成したりと、パソコンは私たちの日常生活の中でも身近なものとな 趣味や仕事の情報をインターネットで調べたり、家族や友人などと写

話題に交流を深める地域の取り組みをご紹介します。 今月は、地域の情報をホームページで発信したり、 パソコンの操作を

○町内会議会会の区域()○町内会議会会の役員

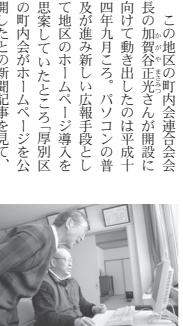
▲清田中央地区のホー ームペhttp://www17.ocn.ne.jp/~kiyochu/

ホームページを作り 地域の情報を発信

向けて動き出したのは平成十

います。 インターネット上で紹介して の活動や地域の出来事などを ホームページを開設し、同会 五年十月から町内会連合会の 田中央地区では、平成十

を見て安心する一方「より見 ら苦労して完成させました。 の使い方を学び、メンバー自 成。ホームページ作成ソフト 人でホ た結果、趣旨に賛同した十四 地域住民に協力を呼び掛け 出来上がったホームページ ームページ委員会を結



▲ホームページ開設の経緯を話してくださった加賀谷さん(左)と鈴木さん。

かからず、気が向いたときに

会員としての登録や会費も

ブで始められたものです。

さん。早速、ほかの町内会の は、同委員会会長の鈴木・亨をした」と当時を振り返るの やすく工夫しなければと思い

と、そのきっかけを話します

やってみようと思いました」 開したとの新聞記事を見て、

> 目を細めます。 るんですよ」と、 ほしいという依頼も増えてい 鈴木さんは

います。 更新作業や行事の様子を取材 すが、今でも十三人のメンバ 手分けして情報発信を続けて して掲載原稿を作成するなど ーがボランティアで、情報の 開設から約二年以上たちま

らなる技量の向上と新たな担 ようと、メンバーとともに活 まりそれを発信することで、 お二人。いろいろな情報が集 い手が加わることを期待する を目指し、メンバー全員のさ 動は続きます。 住み良いまちづくりにつなげ より充実したホームページ

パソコンを話題に 人々が交流

ろはお互いが教え合ったりし 由に操作し、分からないとこ 者は備え付けのパソコンを自 参加できるのが特徴で、参加

て知識と交流を深めます。

美パソコン同好会」。毎月第 ーの部屋で行われています。 が丘まちづくりセンター横の ら午後二時まで、里塚・美し 始めたばかりの人も気軽に集 同地区福祉のまち推進センタ い交流を深められるのが「甲 一と第三水曜日の午前十時か ソコンを使い慣れた人も

コンを安く買った』といった

の交流の場。

んは「パソコンを通した人々

同好会世話役の相原洋子さ

ージは便利』

『あの店でパソ 『このホームペ

※月により開催日などが変わる場合があります。

バーとともに改善を加えてき

ところは取り入れるなどメン ホームページを検索し、良い

は単位町内会の行事も載せて

教えてくださいました。

と、楽しげな同好会の様子を さんが自由に話していますよ」 パソコンにまつわる話題も皆

が広まったこともあり「最近 ました。同委員会の取り組み

> 者からの要望を受け、 開催するパソコン講座の参加 地区の住民有志らで構成する ふれあいクラブ」が定期的に まちづくり運営委員会「里美 この会は、 里塚・美しが丘 同クラ 日程は里塚・美しが丘まちづくりセンタ - (**2**884-1210)まで。

